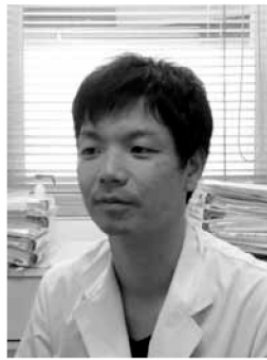


# 感染性腸炎について



内科部長

仲谷 朋久

山香病院だより vol.70

昨今新聞やテレビ等でノロウイルスによる腸炎が流行しているという話をよく耳にします。冬に流行する腸炎の大半がこのノロウイルスなどウイルスによる腸炎です。ノロウイルス以外のウイルスによる腸炎も多数あります。

なぜ最近騒がれる様になったかという点以前からウイルス性腸炎はありましたが、ノロウイルスという名称がつけられたのがここ10年程で更にここ数年でノロウイルスを簡便に診断する方法(3歳以下の小児と65歳以上の高齢者のみ保険による検査が可能です)が普及したためです。

ノロウイルスは冬(主に11～2月)に流行し、概ね1～2日の潜伏期間の後、下痢、嘔吐、発熱などの症状が見られます。乳児や高齢者では脱水や嘔吐による肺炎を起こし、重症化することがありますが0・157の

様な細菌による腸炎と異なり

若年者での重症化は稀でおおむね数日で改善します。特效薬はないため症状に応じた対症療法しか治療法はありません。脱水にならない様、こまめに少量ずつ水分をとることが重要です。100個以下のウイルス

量でも感染するという感染力が強いのが特徴です。次の様な感染経路があります。

●感染者の嘔吐物等を処理する際などに、手指にノロウイルスが付いて、手指を介して口に入り感染する場合、あるいは乾燥して浮遊したノロウイルスを吸い込んで感染する。

●感染者が調理時に食物にノロウイルスを付け、その食べ物食べて別の人が感染する。

●ノロウイルスを蓄積した二枚貝などを、生または十分加熱せずに食べて感染する。

有効な感染予防策は手洗いです。▼ノロウイルスは症状回復後も1週間から1か月程糞便より排出され続けるためトイレの後、料理の前、食事の前には、必ず手をよく洗いましょう。石けんを使い水道の流水で20秒以上洗いましょう。

▼貝類、生野菜は、よく加熱(85℃以上で1分以上の加熱が有効)してから食べましょう。まな板や包丁、食器、ふきん等は、熱湯(85℃以上)で1分の加熱が有効です。

▼衛生的処理がなされないまま、糞便を投棄するのはやめましょう。

▼ノロウイルス感染症を疑わせるような症状がある人は、食事の準備をしたり食物に触れたりすることは、止めましょう。

▼ノロウイルスに汚染されたモノの表面の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム、あるいはグルタルアルデヒドが有効です。1000～5000ppmの塩素漂白剤溶液(5・25%の家庭用漂白剤であれば10～50倍に希釈)が有効です。アルコールや逆性石けんは効果がありません。

冬にはいろいろな感染症が流行しますが、重要なのは感染予防です。手洗いはどの感染症にも有効なので常に心がけましょう。